



日本健康福祉政策学会

**第14回日本健康福祉政策学会学術大会
ふくしま大会のご案内**

大会テーマ

出会う・つながる・笑顔で飛び立つ
～住民の願いや思いを政策に～

学術大会は全国各地で健康づくりや福祉活動、健康福祉のまちづくりに取り組んでいる人達とその活動事例に出会い、つながりが生まれる場です。この大会で伝え、話し合い、気づきや学びを深め合うことができ、さらに、これからの活動に生かし、笑顔で飛び立てる・・・そんな大会をめざしています。

会期： 2010（平成22）年 11月 6日（土）～ 7日（日）

会場： 福島駅西口複合施設 コラッセふくしま

〒960-8053 福島市三河南町1-20

主催： 日本健康福祉政策学会

主管： 日本健康福祉政策学会学術ふくしま大会実行委員会

大会長 白石 達夫 田村市大越町白山区すこやかな地域づくり推進委員会会長

実行委員長 今野 金裕 福島県県北保健福祉事務所長

事務局(問い合わせ先)

福島県県北保健福祉事務所 地域支援課

〒960-8012 福島市御山町 8-30

TEL 024(534)4104 FAX024(534)4105



第14回日本健康福祉政策学会大会

ふくしま大会の開催に向けて

私が政策学会を知ったきっかけは、学会設立總會の時でした。

今回の大会長である白山区すこやかな地域づくり推進委員会の白石会長をはじめ、白山地区住民と話し合いを重ねて5年目、地区の構想書ができあがった時でもあり、地区の活動を学会設立總會で報告する機会を与えていただきました。

活動をまとめる際に、行政や保健師の役割は何であったか、保健師は住民にとってどんな存在なのかを知る機会がありました。グループワークをすすめる中で、司会者が地区住民に「そのとき保健師さんは何をしていましたか」と尋ねました。

そのグループではみんなだまってしまい、私はドキドキして顔が赤くなりました。

しばらくして一人の方が「そういえば、いつもそばにいました」と発言したのです。私はもう少し何かをやっていたという答えを期待していたのですが、予想に反して答えは「いつもそばにいた」だったのです。

このことは住民との協働活動で得られた私の「宝物」になり、現在の活動の基本になっています。

学会設立後、6回程学会大会に参加し各地でいきいきと活動している住民と行政職員・専門職の姿を見てきました。福島にも同じようにいきいきした活動が数多くあります。

今回この学会をきっかけに出会い、知り合い、つながっていければ、また何かがうまれると期待しています。

福島で、私たちと一緒に何かが生まれる場所と時間を過ごしませんか。

是非多くの方々の参加をお待ちしています。

田村市大越保健センター 渡部育子

(日本健康福祉政策学会理事)